

(11)定員適正化計画の  
数値目標及び進捗状況等

①定員適正化目標

定員モデル、類似団体別職員数の状況による分析の結果、今後民生部門において新たな行政需要による職員増が見込まれるものの、時代に対応した機構改革を進めることで、一般行政部門全体において、平成8年度から平成12年度までの5年間に6人の削減を図る。

②定員適正化手法の概要

- 民間委託等  
通送業務、自動車運転業務、施設管理業務等委託化できるものについては積極的に委託する。
- 機構改革  
行政需要に対応した組織の機構改革を実施する。

③定員適正化計画の年次別進捗状況（実績）の概要（各年4月1日現在）

	区分	7年	8年	9年	10年	11年	12年	8年～12年	(参考)
		計画前年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計	数値目標
一般行政	減員	/	7	7	15	2		31	/
	増員	/	4	3	15	9		31	/
	差引	/	△3	△4	0	7		0(0%)	△6
	職員数	199	196	192	192	199			193

(注) 1、計画期間は、8年～12年の5年間である。

2、( )内の数値は、数値目標に対する進捗率を示す。

(参考)

(各年4月1日現在)

	区分	7年	8年	9年	10年	11年	12年	8年～12年	(参考)
		計画前年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計	数値目標
特別行政	減員	/	3	2	4	2		11	/
	増員	/	4	3	2			9	/
	差引	/	1	1	△2	△2		△2	-
	職員数	51	52	53	51	49			
公営企業 等会計	減員	/	1	1	3	3		8	/
	増員	/	1	0	1			2	/
	差引	/	0	△1	△2	△3		△6	-
	職員数	41	41	40	38	35			

④定員適正化計画の年次別進捗状況（実績）の内訳

○一般行政部門

(各年4月1日現在)

	区分	7年	8年	9年	10年	11年	12年	8年～12年	手法の概要（10年）
		計画前年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計	
議 会	減員	/	0	0	0	0		0	
	増員	/	0	0	0	0		0	
	差引	/	0	0	0	0		0	
	職員数	4	4	4	4	4			
総 務	減員	/	1	2	3	0		6	(増員理由) 財団設立準備・広報広聴スタッフの増員
	増員	/	2	1	3	4		10	
	差引	/	1	△1	0	4		4	
	職員数	53	54	53	53	57			
税 務	減員	/	0	0	0	0		0	
	増員	/	0	0	0	0		0	
	差引	/	0	0	0	0		0	
	職員数	17	17	17	17	17			
農 水	減員	/	2	2	1	1		6	(減員理由) ほ場整備業務体制の見直し (増員理由) 漁業集落業務体制スタッフの増員
	増員	/	0	0	2	1		3	
	差引	/	△2	△2	1	0		△3	
	職員数	23	21	19	20	20			
商 工	減員	/	0	0	1	0		1	(増員理由) 専任課長補佐の設置
	増員	/	0	0	0	1		1	
	差引	/	0	0	△1	1		0	
	職員数	7	7	7	6	7			
土 木	減員	/	0	2	0	2		4	(減員理由) 業務の統廃合による縮小 (増員理由) 建築スタッフの増員
	増員	/	1	2	1	1		5	
	差引	/	1	0	1	△1		1	
	職員数	25	26	26	27	26			
民 生	減員	/	1	1	10	0		12	(増員理由) 老人保健福祉業務体制スタッフの増員
	増員	/	0	0	8	4		12	
	差引	/	△1	△1	△2	4		0	
	職員数	55	54	53	51	55			
衛 生	減員	/	3	0	0	1		4	(増員理由) 保健予防業務体制スタッフの増員
	増員	/	1	0	1	0		2	
	差引	/	△2	0	1	△1		△2	
	職員数	15	13	13	14	13			